

熊谷市主要駅周辺帰宅困難者対策協議会の概要・取組状況等

1 概要

- ◆ 活動エリア : 熊谷駅(JR、秩父鉄道)、籠原駅(JR)周辺
- ◆ 会長 : 東日本旅客鉄道(株)熊谷駅長
- ◆ 会員数 : 16人(+その他オブザーバー4団体)

駅	事業者	行政	その他
3人	4人	7人	2人

- ◆ 乗降客数 : 42,806人/日
(JR熊谷駅、籠原駅、秩父鉄道熊谷駅の合計: 令和4年度熊谷市統計書より)
- ◆ 地域の特徴
上越・北陸新幹線及び高崎線、秩父鉄道本線が東西に通っており、埼玉県北部の交通の要衝となっている。鉄道駅周辺への人口集積が見られ、中心市街地で自転車利用環境の整備も進んでいる。

2 今年度の活動内容

- ◆ 会議の開催回数: 1回(令和5年11月27日)
- ◆ 誘導マニュアル等の策定の有無、内容
協議会としてのマニュアルは無い。
(参考)熊谷市帰宅困難者対応マニュアル(平成25年8月策定)
- ◆ 備蓄状況
令和2年度に駅周辺の宿泊施設における一時滞在施設利用に関する協定を締結し、駅周辺7ホテルに保存用ビスケット、500ml保存水、LEDランタン、携帯電話充電セットを備蓄している。
- ◆ その他の活動
令和6年2月に、現地確認訓練を実施した。

3 今年度の訓練内容

- ◆ 訓練実施日 : 令和6年2月中
- ◆ 実施場所 : JR熊谷駅、秩父鉄道熊谷駅、JR籠原駅、各構成員の所在地
- ◆ 参加者
協議会構成員の所属する機関の職員
- ◆ 訓練項目・概要
協議会各構成員の役割分担に基づく対応確認
【JR熊谷駅、秩父鉄道熊谷駅、JR籠原駅、熊谷市】
現地確認訓練を実施
(例: 案内所の設置場所の確認、資機材の確認、案内所の業務内容の確認等)。
【それ以外の構成員】
図上訓練としてそれぞれ単独で実施
(例: 一時滞在施設の受付手順の確認、広報の方法の確認等)。